

# 事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(769)8341
担当部課名	保健福祉部	保育	課	管理 係
事務事業名	よいこの劇場開催費		事業コード	13110

1 総合計画における位置づけ

政策名	第3章	子どもが健やかに育つ環境づくりを進めます	事業開始年度
基本施策名	第1節	子育て環境づくりの推進	~63 年度
施策名	第1施策	保育環境の整備・充実	

2 実施根拠及び関連法令等

よいこの劇場開催要領
------------

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
保育園、小規模保育施設及び陽光園に在籍している児童に、普段家庭で味わえない(昭和50年代当時)楽しみを与えるため人形劇を観劇させ、非日常的体験を通じ園児間の懇親を深める。		認可保育所5歳児、小規模保育施設通所児、陽光園通所児	
		対象数	園児約1,400人
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
開催日及び参加者数 9 / 4 (園児：1,429名) ・人形劇上演委託(1,500千円) ・送迎バス借上料(1,066千円) ・国有財産使用料( 82千円)：バス待機所		なし	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
		計画年次	年度～ 年度

4 評価指標

指標名	よいこの劇場参加児童数		
指標式	参加児童数 / 対象児童数		
指標設定の意図	保育所の利用実績・保護者の関心の高さを表す。		

5 目標と実績

[金額単位：千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標	94	92	a 92	b 100	0	
指標			c	d		
指標			e	f		
事業費	決算(予算)額	3,680	2,683	2,648	2,648	0
	人員・時間数	2~77	2~57	2~57	2~57	0
	人件費	4,686	1,857	1,857	1,857	0
	その他経費	3,680	2,683	2,648	2,648	0
	合計	12,046	7,223	7,153	7,153	0
特定財源	0	0	0	0	0	

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか			
評価 B ▼	A:達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 92.0%	
	B:一部達成していない(100%> 80%)		
	C:達成していない (80%> )		
$\frac{a}{b}$	$\frac{92.0}{100.0} \times 100 = 92.0\%$	$\frac{c}{d}$	$\times 100 =$
$\frac{e}{f}$	$\times 100 =$		
理由:	9月上旬の開催であり、保護者による園の利用(園児の通園)率は高い。体調が悪く、欠席しない限り参加している。		

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 C ▼	A:適応している	理由:	事業開始した昭和50年代に比べ、家庭や社会全体が豊かになり楽しみも増えている。あえて保育所で実施しなければ与えられない楽しみではない。
	B:一部適応していない		
	C:適応していない		

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 C ▼	A:妥当である	理由:	実施日数を減らしたり、添乗員として他課職員の動員も廃止するなど工夫を行ってきたが、課職員のほぼ半数が安全確保のためのバス誘導をしたり各保育所でも応援動員しながら1日掛かりで園児に同行しており、効率的とはいえない。
	B:一部妥当でない		
	C:妥当でない		

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 C ▼	A:代替の可能性ない	理由:	保育所の近隣での園外保育(公園等)や、地域のお年寄りや小学生たちとの交流に代えることができる。各園独自の主催にも期待ができる。
	B:代替の可能性低い		
	C:代替の可能性高い		

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 B ▼	A:満足できる	理由:	質の高い劇であり、観劇した児はとても印象深い様子で、それぞれが劇の内容について話している。なお、在宅で育児している市民の抱く不公平感は否めない。
	B:一部満足できない		
	C:満足できない		

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 C ▼	A:有効である	理由:	非日常的体験であり児の満足度は高いが、子育て環境づくりを推進することは他の施策で充分実現できる。
	B:一部有効である		
	C:有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	成果向上の余地	
	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	<p>説明:</p> <p>他の方法により、その回数を増やすことで園児の満足を得たり、懇親を深めることはできる。当該事業は、成果実現の手段が劇団任せで受身的でありその余地は考えにくい。</p>
	コスト改善余地	
	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	<p>説明:</p> <p>車両基地・バスの借料、劇の上演委託などは改善できない(回数を減らすなど実施済み)。職員の対応も40人体制から10人体制へ改善済み。</p>

7 総合評価

評価 C ▼	他自治体の類似事業との比較		
		今後の進め方	
<input type="checkbox"/>	継続	説明	各保育所単位での"非日常的"事業は工夫する余地が十分ある。園児間の懇親を深める事業は、園外保育、地域交流等頻繁に行っており、当該事業を廃止しても児の楽しみを全く奪い去ってしまうものではない。
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input checked="" type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--